

令和6年度第1回柴田町男女共同参画推進審議会 議事概要

【日 時】

令和6年7月26日（金） 午後2時00分～午後3時30分

【場 所】

柴田町役場保健センター3階 大会議室

【出席者】

柴田町男女共同参画推進審議会委員 6名 ※3名欠席
事務局（柴田町まちづくり政策課） 3名

【資 料】

- ①令和6年度第1回柴田町男女共同参画推進審議会次第
- ②令和6年度第1回柴田町男女共同参画推進審議会協議の進め方について
- ③第5次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート
- ④第5次しばた男女共同参画プラン施策事業 数値目標の達成状況一覧
- ⑤令和6・7年度柴田町男女共同参画推進審議会委員名簿

【内 容】

進行：事務局

※審議会は公開とされているため、録音機器等で協議を録音したものをもとに議事概要を作成し、町ホームページで公開する旨を説明。

【議 事】

委嘱状交付

委員改選に伴い全員に委嘱状を交付。

1. 開会

2. あいさつ（滝口町長）

柴田町はこの「男女共同参画プラン」に基づき、これまでも男女共同参画に向けて努力をしてきたところでございますが、コロナ禍の影響もあり、事業が進んだところもあれば、若干進まなかったところもあるのではないかなと思います。

家庭それから学校、地域、職場、そして社会。いろんな分野で男女共同参画を推進しなければならぬんですが、全体的に少しずつは改善をしているものの、まだまだ固定的役割分担というものが残っています。なかなか地域で政策や方針決定に参画できる女性の方が少ないということですし、経済的には男女間の賃金格差も進んでないということもございます。それどころか、最近では女性に対する暴力、セクハラ、ストーカー行為といった事件が多発していると

いうことをございます。近年の話題としては選択的夫婦別姓問題があり、なかなか私自身も新
積できてない面がございます。また、これからは人口が減っていきます、すでに相当に減って
きておりますので、多様な人材が活躍できる社会を作っていくないと、我が国自体が持たない
という危機感がございます。そういった点で、社会全体の動きと我々柴田町との動きが連動す
る形で、少しでも男女共同参画社会の実現に向けて、一歩でも二歩でも進む政策を展開してい
きたいと思っております。

そのためにも、色々な立場で活躍されている皆さんから、柴田町の事業内容に対してご指導
を賜りながら、進めていきたいと思っております。現在の計画は令和8年3月までということ
になりますので、令和8年4月からの第6次の計画づくりにも着手しなければならない。その
時にはこれまでの事業の的確な分析、それに対する反省、それから新たな施策提案、これでも
って第5次計画を踏まえた第6次計画を作成させていただければというふうに思っております。
皆さんのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

3. 委員の紹介

※名簿順に事務局から紹介及び各委員から自己紹介。

～事務局より柴田町の男女共同参画について説明～

4. 会長及び副会長の互選

委員から事務局に一任との意見あり。

会長に作山美智子委員、副会長に國分英敏委員を提示、全会一致により決定。

【会長あいさつ】

作山でございます。委員と、それから会長を拝命いたしました。

この任に関してですね、長くはなって参りましたけれども、やはり取り巻く世の中や時代も
ものすごく目まぐるしく変わってきておりますので、私たち古いものは、次の世代を担って作
っていくかなきゃいけないなということと、それから時代に合うものをきちんと見据えて、意見
を申し上げていけないといけないんだろうなというようなことを感じております。新しい委員
の方からたくさんのご意見を頂戴したいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

【副会長あいさつ】

國分英敏と申します。

昨年度も副会長をさせていただきましたが、今年度も精一杯頑張らせていただきます。皆さ
んの忌憚ないご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞご協力お願いいたします。

5. 議題

第5次しばた男女共同参画プランに基づく令和5年度事業実績及び令和6年度事業計画について

～事務局より令和5年度事業実績及び令和6年度事業計画について説明～

〈会長〉

かなり膨大な資料ですけれども、この1枚もののA3のカラー刷りが概要版としてとても見やすく、評価として達成できたのかできてなかったのかっていうのが一目瞭然で見ることができます。

それから、ホチキス留めの冊子版で、今までの経過やどういうことで評価が○だったのか×だったのかが見てとれます。いろんな事業に関しての予算配分について、少し削られているのか圧縮されているのか、これもすごい関心があるところではありますけれども、昨今の社会情勢を鑑みて、この企画に対してこの予算では足りないんじゃないかとか、これが少し過剰に手当されているのではないだろうかとか、そういったご意見も当然出てくるかなというふうに感じます。

僭越ながらですね、この委員の中には、かなりキャリアの長い委員と、今年仲間に入っていた委員とがいて、着眼点もかなり違うのではないかと思います。新しい委員として参画していただいた方の意見というのはとても新鮮だと思いますので、大変恐縮ではございますが、委員からどんなところに目が留まったのか、そしてこれはどういうことなのか、もうすでに資料を読み込んで、いろいろな質問事項やご意見をご準備されていたかも知れませんが、その辺をご発言していただいでよろしいでしょうか。よろしくお願いいたします。

〈委員〉

今年度から委員となりました。前もっていただいた資料を一生懸命読んだんですけど、すごく柴田町の取り組み、事業がいっぱいあるんだなっていうのが、不勉強ながら感じた次第でした。

今年度、子ども家庭課からシルバー人材センターに、ひとり親家庭の支援と出産した家庭の産前産後の手伝いといった仕事のご依頼がありまして、やはり少子化なので、そういう子育てをする上でのサポートとかは、個人的に一番実現して行って欲しいと思います。利用者さんが少ないということを具体的に数字で見せられると、やっぱり宣伝不足というか、町民へのアピールが足りないのではと感じます。自分で困っているけどなかなか言いたせないような方がたくさんいるのかと思うので、その辺の周知をして、利用者さんが増えていくといいなと思います。

不勉強なもので、これぐらいでお願いします。

〈会長〉

ありがとうございました。

宣伝不足とか、周知の方法において少し課題があるのではないかというご発言がありました

けれども、何かこういった方法でもアピールしてますかっていうようなご意見はありますか。

〈委員〉

今の若い世代は SNS が強いですね。張り紙とか新聞とか冊子よりは、そういうほうが、見る人はよいのではというのがありますね

〈会長〉

では、シルバーにご勤務されている視点から言うと、PR 方法と予算についてはどうですか。もしお気づきがありましたら、またご発言をお願いいたします。

それでは、委員いかがでしょうか。

〈委員〉

私も今回から初めて参加させていただくことになりました。まだ勉強不足のところもありますがどうぞよろしくをお願いします。

今回気になったところは、まず冊子の資料 30 ページ、介護に関する養成講座の参加人数です。もともと、介護っていうと女性の方が中心になって覚えてしまうかなっていうのがあったんですけども、教室・講座の参加者の男女比が余りにも違うことに驚きました。もう少し男性の方が奥様と一緒に参加されたり、興味を持っていただけたらいいのかなと思います。やはり力仕事が多いと思いますので、その点では、男性の力を借りたほうがスムーズに行くのではないかなというところがありました。

それから 42 ページ、定年後の男性向けの教室なんですけども、人数がどんどん少なくなっているの、教室の内容をいろいろ考える必要があるのかなと思いました。今の定年退職された方々っていうのは、まだまだ本当にいろんなことができますし、知識もたくさん持っていらっしゃる先輩方なので、ぜひ若者たちにいろんなことを教えていただくために、何か工夫する必要があるのではと思いました。

もう 1 つは 44 ページの、防災訓練についてなんですけれども、小中学校の防災教育をもう少し充実させたほうがよろしいのかなと思いました。防災教育何やってるって子供に聞いたところ、避難訓練とか、防災マップづくりとか、いろいろなことをやってるみたいなんですけれども、授業で忙しいところではあると思うんですが、先生方のご協力を借りてもう少し充実できないかな、その余地はあるんじゃないかと感じました。

以上です。

〈会長〉

はい、ありがとうございました。

様々な観点からありましたけれども、例えば男性の地域デビューに関して、メニューはもうちょっと検討する余地があったのではないかとのことですが、委員からしたらこんなメニューとか入れてみたらどうかしらというのはございましたか。ちょっとアイデアが枯渇しているかもしれないので、こちらの審議会から、「いやいや、世の中の男性たちはきっとこういうふうなメニューだったら飛びついてくるのではないだろうか」とかいうご提案などございますで

しょうか。令和6年度計画としては、ガーデニング教室とか男の料理教室とかっていうのがもう立っているのですけれども、次の企画に活かしていけるような。

〈委員〉

ガーデニングというどうしても女性の方が飛びついてしまうと思うので、農作物や畑仕事といった言葉を使うといいと思いました。また、私はいまジムに通ってるんですけども、年配の男性も結構多くいらっしゃるの、ウォーキングとかそういう体を動かすものもよろしいんじゃないかなあとも思います。

〈会長〉

体作りですね。そういうね、DIY、日曜大工みたいなものもあるといいですね。

あとはこの「学校地域における防災教育の充実」の人材とかっていうのは、総務課が企画して総務課が派遣してるんですか。もう少し充実っていうその意味合いとして、例えばこんなところまで、子供たちには教えて欲しいんだっていうのはございますか。

〈委員〉

どこまで教育総務課の方とお話を進めているのかわからないんですけども、例えば震災遺構を訪れたりとか、その地域の人たちの話を聞いてみたりとか。私たち柴田町っていうと、大変な思いをされていらっしゃる方もたくさんいると思うんですけども、津波とか、そういうところまで実際に経験はしていないものなので、命の大切さとかっていうのを直に感じてもらうためにも良いのではないのでしょうか。

〈会長〉

審議会委員からの意見ということで、フィードバックしていただければありがたいですね。

はい、ありがとうございます。

それでは、委員よろしいでしょうか。

〈委員〉

私は公募で応募させていただきました、よろしく申し上げます。

今回応募をしましたのは、生まれ育った柴田町でやってることを知りたいという気持ちからです。いただいた資料を拝見しまして、素朴な質問というか、疑問点のようなものを申し上げたいと思います。

まず1ページ目、令和4年度の実績に、町内企業として東海高熱工業株式会社さんが参加しましたとあり、令和5年度は町内の参加企業は無しとあります。もしかするとその企業さんに対象となる社員さんがいらっしゃらなかったのかもしれませんが、以前参加された企業さんが再度参加するという流れが出てくると、だんだん参加企業も増えてくるのかなと思いました。

次に10ページ、町内企業による育児休暇取得状況などの取り組み事例について、実績を見ますと事例が無いため取り上げることができなかつたとあるんですけども、商工観光課の方で開催されている企業情報ガイダンス、そこから情報をもらって事例を取り上げていくなど、何

か課を跨いだ連携を取れたらすごくいいんじゃないかなと思いました。

そして17ページの子育て相談事業について、こちらの目標値は2人になっていますが、これまでの計画を見ますと、「児童家庭相談員を1名配置して、相談体制を図ります」となっています。目標値の2人に増やしていくほうが良いけれど、1名で現状間に合ってるということなのかなと、ちょっと読んでいて分からなかったところでした。

私からは以上です。

〈会長〉

はい、ありがとうございます。

児童家庭相談員の勤務体制ということで、どのように親子の支援ができたかという目標ではなく、職員の体制を測定指標にしていますよね。派遣要員向けということで、予算も関係してるというようなことになってますけれども。

この点に関して、事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉

児童福祉士さんとか社会福祉士さん、心理学等の資格をお持ちの方を雇用していると思いますので、その辺の人材を確保することがなかなか難しい、あと予算的な部分も確かにあると思います。また、出生率の低下も考えられます。柴田町は多いときで年間300人以上生まれていたんですけども、最近は200人切るぐらいだったので、相談員が2人必要かどうか、計画を立てたときの数字が妥当なのかどうかという部分も要因として考えられます。

〈会長〉

ありがとうございます。

そしてこの報酬160万4000円というのは、相談などでの諸経費として予算を確保してるってことでよろしいですか。1人増員して、2人になればこの額を支払うというわけではないんですね。

〈事務局〉

1人当たりの人件費で、2人になれば2倍になると思います。

〈会長〉

はい、では委員の方から。

〈委員〉

報酬について気になったのが、令和4年度の計画では107万4000円だったのが、令和5年度の計画では160万4000円になっているのは、何か理由があるんですか。

〈事務局〉

町の雇用の仕方が変わったためです。会計年度任用職員という制度が始まって、ワーキングプア対策のためにも、臨時職員さんの給与を町職員のものに近づけていく、そういう給与制度

改革がありました。

〈委員〉

ありがとうございます。

〈会長〉

ここ数年コロナもあったりして、単純には比較できないところもあるのでしょうか。では次進んでよろしいでしょうか、委員お願いいたします。

〈委員〉

この審議会が立ち上がってからもう10何年ぐらいになりますが、今回も出席することにいたしました。会長の方からフレッシュな意見、新しいものでありましたので、私からは相対的な所と、去年、一昨年と関わった後のところですね、そこだけちょっと言わせていただきます。

このシート非常に見やすくですね、毎年比較するのに大変だった作業がこれで一目瞭然になりました。これ、なぜ×が3年連続あるんだらうというところで、見たところやはりコロナの影響が大きいだらうと推測されましたので、今後の結果に期待したいと思います。ただ、こうやって施策の結果が出ますと、何が原因でできなかったのかがはっきりするかと思いますので、それを踏まえた上での施策実行ということが大事になってくると思います。そのところ、各課内の実行力にお願いしたいと思います。

去年、私は会社の方で里山ビジネス協会に深く関わらして、地域の人たちや農家レストラン、直売所なんかと連携した町コンを今年の3月にやらせていただきました。参加者は総勢24名で、結婚まで行くんじゃないかなっていう方が1組いました。ああいう若い人たちが一堂に集まると、力強さ、エネルギーを感じますし、将来像が描ける時間は貴重だと思いました。

どうしても、介護や老人の問題とか定年退職者の問題になると、未来を描けるというよりは、ちょっと寂しい気持ちになるような現状なんですね。なんですけども、そういうことと併せ持って、どういう風に若い人を柴田町に定着させて、子供をたくさん産んでもらうようにしていくのか。もう日本全体が直面してる問題ですけども、労働力、担い手不足を解決できない限り、老人介護の問題も解決できないので。そういったところをどういうふうに手厚くしていくかが、町としても大事であると思います。

〈会長〉

はい、ありがとうございました。

委員が今おっしゃった町コンっていうのは、こういう事業の中には取り込むことはできないんですか。

〈事務局〉

町コンは多分、この計画ができた後に事業を進めたものになります。取り込むとすれば、第6次の計画を策定するときに、新たな指標として入るようになると思います。

〈会長〉

はい、ありがとうございました。それでは、副会長の方からも何かご意見ございますでしょうか。

〈副会長〉

7ページの、コラボ商品開発のための研修会等の開催について、個人的な意見といたしますか。例えば、麺ゆるりさんや麺組みなみさん、yatsuboshiさんとか、そういった県内でも有名になりつつあるラーメン屋さんに、商品開発をお願いしてみたいかがでしょうか。個人的な願望も入っていますが、最近はテレビ番組を見てもラーメン特集が組まれるほどラーメンに力があると思います。柴田町、せっかくこういうラーメン屋さんがあるので、商品化して全国的に売り出せるようご協力いただけるといいですね。

実は私本当にラーメン好きで、その中でも札幌のすみれという味噌ラーメンが一番好きなんです。それで、スーパーで売っているカップラーメンとかじゃなく、お店から直接取り寄せるんですが、やっぱり若干違うんですよ、麺とかも。なので、きっと需要はあると思います。簡単に申し訳ありませんが。

〈会長〉

かつてこの審議会でも、柚子をどういうふうにか商品化できないかしらって一生懸命、真面目な顔で議論したことがありましたよね。そしてここにスイーツとかパスタとか、なんかいろんなことが書いてありますけれども、今、副会長の方からは、ラーメンっていうのは切り口だぞというご提案いただきました。確かに、なんかお店を開くとか企業をやるっていうときって結構、若者たちはラーメン屋さんやり始めてますよね。そういう意味で、その可能性はあるのかどうか検討して欲しいというご意見、承りました。

私の方からは、この一覧表になったの、とても素晴らしいなと思います。事務局の能力の高さを感じます。本当にお疲れ様でした。ちょっとここで目に留まったのは、猛暑でもあるんですけども、昨日はまた水害といいますか、洪水もありましたよね。実は私の母の実家が酒田なので、どうしてるかなと思って電話したら、まだ繋がらなくてですね、固定電話しか私がメモってなかったものですから、きっとどっかに避難してるんだなっていうのはわかるんですけども。そういうのを考えますと、今国で力を入れている地域包括ケアシステムを、その町に応じた地域包括ケアシステムをまわしていかなければいけないっていう、もう至上命令がありますよね。防災に強い街を作るっていうことが、地域包括ケアシステムの1つの具現化っていうふうに言われてるんです。その場合やはり決め手となるのは、女性がどのぐらい参加しているか。女性の目線っていうのは、まだまだ必要なんじゃないかなあということを感じます。

今委員の方からも、防災教育はまだ魅力的なものになっていないぞというふうに、お子様からの情報収集があって、そういうことなのね、っていうのは私もわかりましたけども、昨今のこの防災教育っていうのはただ避難するだけではなく、感染予防も加わってきてるんですね。本当にこれ難しいですよ。マスクつけたらいいのか外したらいいのか、手洗いはいつしたらいいのか、どこでどういうふうにしたらいいのか。あとは、避難所もペットと一緒にの方が被災者たちの健康状態が大変良好に保ってるぞとかね、いろんな調査結果が出てきております。

そういう細やかな支援、雑学的なことってやっぱり女性をどんどん入れていかないと、気付けないんじゃないかと感じておりますので、この事業の5-2-2の防災指導員の要請っていうところでは、×××ってついていますがけれども、なんとしてでもこれは。特別枠でっていうと朝ドラではね、「特別枠は失礼じゃないか」とか、「そういう特別枠じゃなくて、男女平等な社会を」というふうなことがよく、セリフの中には出てきますけれども、でも特別枠としてでも、とにかく女性を入れるべきではないかと感じました。以上でございます。

そして、このようにして出てくると、やはり×3連続は気になりますよね。中には目標の設定の仕方が悪いように感じられるところもあります。こういうのを目標値に設定するとちょっと厳しいよなっていうところもありますので、ぜひその辺も検討していただきたいと感じます。まあ、少しコロナの影響もあったかと思えますけれども、そろそろ本当に本腰を入れてきちんとやらないと、3連続の×はこのまま見過ごしてはまずいのではないだろうかと感じます。

その他、委員の方達どうでしょうか。もう一巡してみましようか。

委員いかがでしょうか。

〈委員〉

防災指導員の方ですか。

〈会長〉

何でもいいです。いろんな他の委員の話を聞いたりして、ご自身のいつも思ってるようなこととか。

〈委員〉

はい。町の予算もいろいろあるので、なかなか希望通りいかないところが多いのかなっていうふうには思ったんですけど。若い人を町に呼び込むとか、魅力あるまちにしていかないと、シルバー人材センターで高齢化している現実を見ているので、やっぱり若い力が必要なんだなと思います。そのためには、柴田町もいろいろなサポートをしていかなければいけない。こういう便利なところもあるよ、こういう魅力的な、勉強できるいろいろな研修があるよっていう宣伝が必要なんじゃないかなって思いました。

〈会長〉

ありがとうございます。それでは次の委員いかがでしょうか。

〈委員〉

私もラーメン大好きです。

柴田町確かにラーメン激戦区と言われているので、例えば、今度体育館オープンしますが、その時にラーメン屋さんをめぐるスタンプラリーとかあったら、町外からたくさん若者来るんじゃないかなって思いました。以上です。

〈会長〉

はい、ありがとうございます。委員いかがでしょうか。

〈委員〉

先ほど委員からお話があった、防災教育として震災遺構などを訪れた方がいいのではないかっていうご意見について、私も柴田町で育ったので、東日本大震災で被災はしたんですけど、他県の人から聞かれたとき、あんまり当事者感が無いというか。沿岸部の方たちが大変な目に遭ったっていうのがあるので、積極的にいろいろ言えないというところがありまして。今のお子さんたちは、なおのことそう感じるだろうなっていうのがあるので、そういった震災遺構などを目にして考える時間を持つようにしておいた方が、今後そういう話をする中でいいんじゃないかなと思いました。もしできるのであればそういったことはしたほうがよろしいのではないのでしょうか。

〈会長〉

ありがとうございます。それでは副会長、あとは追加ありますか。

〈副会長〉

事業 1-1-3 番、「国・県等の各種助成金や起業家に対する融資制度等の情報提供」とありますが、弊社の方に 65 歳以上の助成金や障害者雇用の助成金等の案内が定期的に届いていますので、弊社としては大変助かっております。こういったものが他の会社とかにもっと周知されればいいのかと思います。以上です。

〈会長〉

そのためにも、何か SNS とかを積極的に町で活用していただければいいということですね、ありがとうございました。

今日は多岐にわたるご意見が出ましたけれども、以上でございます。これ、後は事務局がまとめて、それぞれの課にフィードバックされるということでもよろしいでしょうか。そしてこの審議会は年 1 回になりましたので、その後どういうふうになるのか教えていただければと思います。

では、事務局にお返ししたいと思います。

〈事務局〉

はい、どうもありがとうございました。

今皆様からいただいた意見を事務局で取りまとめまして、各課の方に周知をしたり、あとは来年度の計画の策定に向けてフィードバックするという形になっております。

また、審議会の方は 1 回だけなんですけども、例えば、今から何か環境に関するものであるとか、審議会の開催が必要な事がありましたら、その都度会長の方からの召集するということになりますので、その際はどうぞよろしくお願いいたします。

6. その他

- ・ 本日の報酬と出席費用弁償の支払いについて説明

7. 閉会（副会長）

本日は暑い中、お忙しい中、令和6年度第1回柴田町男女共同参画推進審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。大変有意義な議論と時間を共有できました。

ぜひ、次回もどうぞよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。